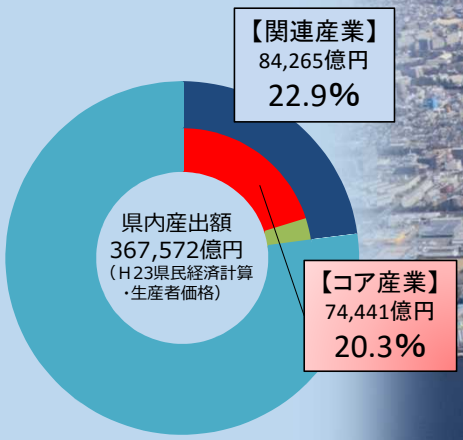
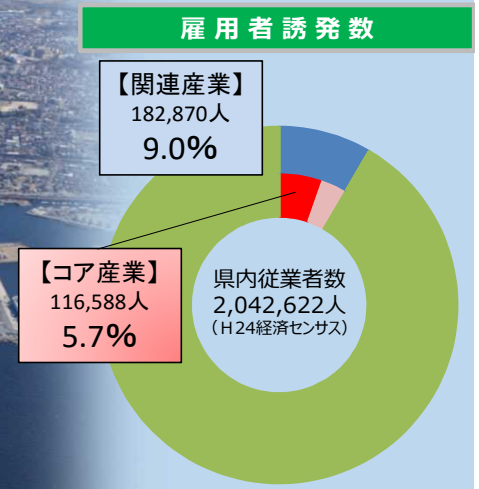
千葉港の経済波及効果

- 千葉港の関連産業によってもたらされる千葉県への経済波及効果（総生産額）は約8.4兆円と推計されました。
  - 経済波及効果の約8兆円は、原材料等を含めた千葉県の産出額（約36.8兆円・生産者価格）の22.9%に相当します。
  - 雇用者誘発数は千葉県全体で約18.3万人となり、県内従業者数（約204万人）の9.0%となっています。
  - 税収効果は約1,152億円となり、県全体の税収（対象税目：約1兆31億円）の11.5%となっています。

経済波及効果（総生産額）



雇用者誘発数



◆千葉港の関連産業の定義

千葉港に直接的に関わる「港湾物流産業（水運、運輸、倉庫等）」と「港湾立地依存型産業（鉄鋼、化学、石油・石炭、造船等）」をコア産業と定義しました。

また、原材料や製品の調達・出荷といった港湾の物流機能を活用した産業(食料品製造業などコア産業以外の製造業等)や、千葉港エリアの事業所や就業者を主な取引先・顧客として事業を行っている産業（卸売、小売等）など、千葉港と間接的に関わる産業を「港湾関連産業」と定義し、「コア産業」と「港湾関連産業」の合計を千葉港の関連産業と定義し、需要増加額および経済波及効果の推計を行いました。

◆千葉港の経済波及効果

		千葉県	千葉港 関連産業	県内 構成比	千葉港 コア産業	県内 構成比
事業所数	（事業所）	190,239	-	-	741	0.4%
従業者数	（人）	2,042,622	-	-	34,134	1.7%
経済波及効果(総生産額)	（億円）	367,572 （注1）	**84,265**	22.9%	**74,441**	20.3%

出所：総務省統計局「平成24年経済センサス活動調査」、千葉県「県民経済計算」等をもとに作成
（注1）県民経済計算における生産者価格表示の産出額(H23年度)

◆部門別の経済波及効果

（単位：億円）

		直接効果	構成比	経済波及効果（総生産額）	構成比
1	製造業	58,763	84.9%	62,298	73.9%
2	電力・ガス・水道・熱供給	4,511	6.5%	6,059	7.2%
3	運輸・郵便	3,584	5.2%	5,066	6.0%
4	商業	1,842	2.7%	3,235	3.8%
5	対事業所サービス	0	0.0%	1,518	1.8%
6	不動産	0	0.0%	1,419	1.7%
7	教育・研究	0	0.0%	1,076	1.3%
8	金融・保険	0	0.0%	657	0.8%
9	建設	425	0.6%	648	0.8%
10	情報通信	0	0.0%	596	0.7%
11	対個人サービス	57	0.1%	582	0.7%
12	農林水産業	1	0.0%	219	0.3%
13	医療・福祉	0	0.0%	196	0.2%
14	その他産業	0	0.0%	696	0.8%
合計		**69,183**	**100.0%**	**84,265**	**100.0%**

【直接効果】：最終的に消費される財・サービスに対する需要によって生じる生産額の増加のうち、県外に流出せず県内各産業で調達された生産額
【経済波及効果】：ある産業に新たに最終需要が発生することにより、自産業および他産業の生産を誘発する効果

部門ごとの経済波及効果は、「製造業」が約6兆円で全体の7割以上を占めています。製造業以外では、「電力・ガス・水道・熱供給」、「運輸・郵便」などコア産業で多くなっています。

コア産業以外でも、「商業」、「対事業所サービス」、「不動産」といった周辺産業にも幅広く波及しています。